

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

お ん ね な い

月刊 温根内 通信

——— 2023 年 12 月号 No.327

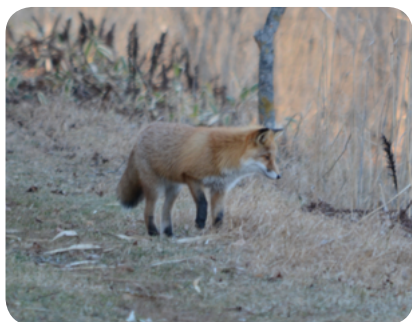
12 月 15 日 (金) 発行 ———



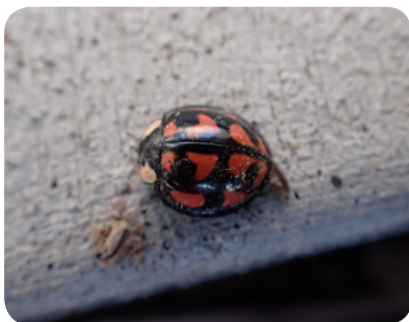
食べられるなら…手段選ばず

エソタヌキは同じところに繰り返しフンをする不思議な習性があり、鶴居軌道跡にはいわゆるこの「溜めフン」スポットがあります。ある朝そのスポットを通ると、なんとカラ類がその溜めフンを嘴であさっていました。特に積極的なのはゴジュウカラ。フンの中に含まれる、未消化の種子を探し出してはどこかに持って行っているようでした。どんなものでも探し出して生き延びようとする強かさには心打たれます。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然（11/15～12/14） ☆☆☆



【キタキツネ】
イヌ科 北狐
鶴居軌道沿いで餌を探していました。こちらに気づくと面倒くさそうに去って行きました。



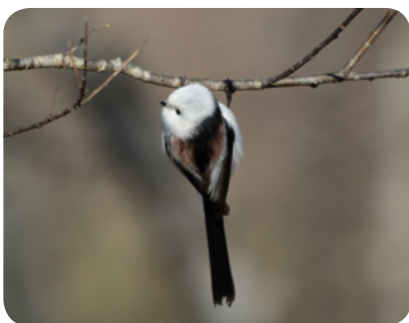
【カメノコテントウ】
テントウムシ科
越冬場所を探していたのか、VCの出口で見つけました。テントウムシの仲間では国内最大。



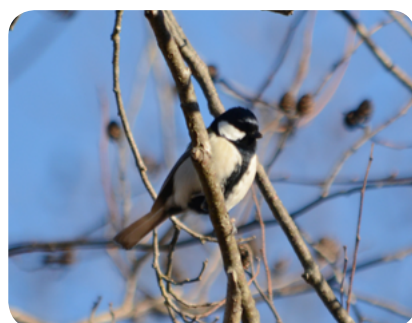
【タンチョウ】
ツル科 丹頂
親子が低空で飛んでいきました。幼鳥が「ピー」という甘えた声で鳴いていたのが印象的でした。



【マヒワ】 漂鳥
アトリ科 真鶺
ハノキの種子をついばむ姿が見られています。口に食べカスをつけた愛らしい姿でした。



【エナガ】 留鳥
エナガ科 柄長
細かく動き回り翻弄されます。枝にぶら下がるのも得意です。北海道のエナガは亜種シマエナガ。



【シジュウカラ】 留鳥
シジュウカラ科 四十雀
この時期は他のカラ類と一緒に行動しています。様々な鳴き声を使い分けています。

○表紙の写真 上：エゾタヌキの溜めフンに集まるゴジュウカラとハシブトガラ 下：霜の付いたハノキの実

○温根内木道周辺で観察された鳥（11/15～12/14）

鳥（和名は日本鳥類目録第7版の順）		7	コゲラ	14	ハシブトガラ	21	ミソサザイ
1	タンチョウ	8	オオアカゲラ	15	ヒガラ	22	ツグミ
2	トビ	9	アカゲラ	16	シジュウカラ	23	セグロセキレイ
3	オジロワシ	10	クマゲラ	17	ヒヨドリ	24	マヒワ
4	オオワシ	11	カケス	18	エナガ	25	ベニヒワ
5	ハイタカ	12	ハシボソガラス	19	ゴジュウカラ	26	シメ
6	ノスリ	13	ハシブトガラス	20	キバシリ		

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

○「クリスマスリースを作ろう」11月26日 参加者：16名 講師：甲斐美弥子（リース創作研究家）

クリスマスが近づき、自分だけのオリジナルリースを作る恒例のイベントを行いました。随時講師の甲斐氏が対応し、参加者の自由な発想に任せて製作するいつもの方針で進めていきました。まず土台となる巻き藁を選んでから、用意したリース用の素材やオーナメントを配置していき、グルーガンや針金で固定し



ていきます。デザインや配置などで迷ったら講師に助言をお願いしつつ、作製していくと、開始1時間を過ぎると次々と形が見えていき、立派なリースが出そろってきました。「今年の参加者は大胆です！」と講師も舌を巻く出来で、大きい土台に斬新なデザインのリースが完成していきました。参加者の方々は自慢のリースを手に、満足な表情を浮かべて持ち帰っていきました。皆様、楽しいクリスマスをお過ごしください！



○「湿原の『かたち』を見て歩こう」12月3日 参加者：16名 講師：藤原伸也（温根内VC指導員）

湿原で見られる様々な「かたち」に焦点を当てて木道を歩く散策会を行いました。まずは木道の開始地点で湿原特有の地形、「やちまなこ」や「やちぼうず」について紹介し、陸地とは違う湿原の不思議な性質を堪能してもらいました。朝が冷え込んだこの日は湿原の水面に小さなフロストフラワーのほか、所々アイスバブルも見られました。ヨシ原から南方向を眺めると階段状になった「段丘地形」が見られました。それぞれに釧路段丘、根室段丘という名称があることや、釧

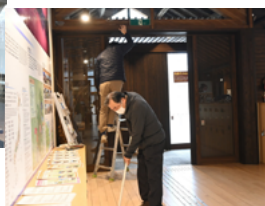


路の市街地にもこの階段地形を感じられるスポットがあることも紹介し、地元の参加者は「ああ…あれか！」と頷いていました。また、双眼鏡でのぞくと段丘の中腹に釧路市湿原展望台の先端にあるサテライト展望台が確認できました。さらに歩を進めていくと、今度は北の方角に冠雪した阿寒の山々がくっきりと見えました。雌阿寒岳からは噴気も昇り、道東地方が世界有数の火山の密集地帯だということも理解してもらえました。終盤にはハンノキの実をついばむマヒワが現れ、じっくりと双眼鏡で観察ができ、最後まで心弾む散策会となりました。



☆☆☆☆ みんなで大掃除！ ☆☆☆☆

12月9日、パークボランティアの皆さんにお集まりいただき、館内の大掃除を行いました。普段は見落としがちなどころや、手の届きにくいところなど、隅々まで綺麗にさせていただきました。これで当センターもよい新年を迎えられそうです。皆様、ありがとうございました！



☆☆☆☆ 温根内おすすめの初日の出スポットはここ！ ☆☆☆☆

釧路湿原の西側に位置する温根内周辺は東側が開けているので、実は日の出を見るには絶好の立地！以下は過去の温根内通信にも掲載した日の出の風景です。寒さ対策をしっかりと、来年は温根内で初日の出を拝みませんか？なお、2024年1月3日までビジターセンターは閉館しています（閉館中はトイレも使用不可）のでご注意ください。



①新釧路川右岸堤防道路



2021年撮影

少し高い位置から湿原を見下ろすことができます。東の丘陵地から昇る朝日が幻想的な湿原を映し出します。

②ミズゴケ湿原



2019年撮影

足を運ぶのは少し大変ですが、ミズゴケ湿原に浮かぶ日の出は息を飲む美しさ。エゾシカの群れとのコラボも期待できます！

③ビジターセンター付近



2022年撮影

ハンノキ林越しに昇る日の出がGOOD！冷え込んだ朝にはハンノキの枝につく樹氷が引き立て役になります。

☆☆☆☆ イベントのご案内（1月）事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆

申し込みは開催日の1か月前から受け付けています

○ 自然ふれあい行事 ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪ 湿原アニマルトラッキング

〔日時〕1月14日（日）10:00～12:00

〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）〔参加費〕無料〔場所〕温根内ビジターセンター
雪の上の足跡や、あちこちに残る痕跡から、湿原周辺の動物の行動と暮らしについて考えます。



○ 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪ 塘路湖の氷上を歩こう

〔日時〕1月13日（土）10:00～12:00

〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～今年もお世話になりました～

今年も残すところわずかとなりましたね。当センターは下記の期間、年末年始休館とさせていただきます。

どうぞよいお年をお迎えください。

<年末年始休館日>

2023年12月29日（金）～

2024年1月3日（水）

（新年の開館は1月4日（木）から）

月刊 温根内通信 No.327

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9:00～16:00（4月～10月は17:00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料